



# イラク復興支援群活動報告

17. 10. 10

イラク復興支援群

## 報告項目

- 1 全般
- 2 人員、装備の状況
- 3 現地の治安状況等
- 4 明日の活動予定

全 般 (10月10日)

- ◎ サマーワ主力
  - 人員・武器・装具、異状なし
  - 警備態勢 [REDACTED]
  - 人道復興支援関連
    - ◆ 医療
      - 外務省等との調整
    - ◆ 学校等の公共施設の復旧・整備
      - ・ 学校の改修:
        - ネイサー中学校の施工状況確認を実施(ヒラール)
        - 別紙第1「ネイサー中学校施工状況確認」
        - 11カ所(サマーワ×7、ワルカ、ルメイサ、ヒラール、ヒドル)での役務作業
      - ・ 道路の改修:
        - 4カ所(サマーワ×2、ルメイサ、スウェイル)での役務作業
      - ・ P H Cの改修:
        - 11カ所(サマーワ×2、ヒドル×2、マジット×2、ダラージ、ルメイサ、ワルカ×3)での役務作業
      - ・ 給水関連施設の改修:
        - ワルカ浄水場の施工状況確認を実施(ワルカ)
        - 別紙第1「ワルカ浄水場施工状況確認」
        - 2カ所(ワルカ、ルメイサ)での役務作業
      - ・ 青年・女性・福祉関連施設の改修:
        - 3カ所(サマーワ×2、ルメイサ)での役務作業
      - ・ 清掃事業関連施設の改修:
        - 1カ所(サマーワ)での役務作業

全 般 (10月10日)

- 行事等
  - ・ AMTG指揮官 [REDACTED] 及び豪軍POLAD、群長を訪問(宿营地)
  - 別紙第2「 [REDACTED] の宿营地訪問」
  - ・ 群長等、TFM指揮官 [REDACTED] を訪問(CPスミッティ)
  - ・ 警備中隊及び本部管理中隊、小火器射撃訓練を実施(サマーワ近郊射場)
- 宿营地関連施設の整備
  - ・ 冷凍コンテナメンテナンス
  - ・ 第1回現況調査(～13日)
  - ・ 厚生施設内装改修
  - ・ 発電機再配置
  - ・ 宿营地内側清整備
- スカッドバンカー設置 前日3時頃
  - ・ コンテナ土嚢排出作業
  - ・ [REDACTED] 通信ラックの設置・試験
  - ・ [REDACTED] 整備
- 10月10日現在の雇用人員
  - 計649名(累計: 319,940名) 細部別表「雇用人」参照
- その他(特記事項)
  - ・ メンタルヘルス教育を受講中(陸幕等出張者による)
  - ・ 索支隊長、戦力回復のためイラク出国(12日まで: UAE(ドバイ)滞在予定)
  - ・ 対外発信関連: 10月号原稿調整(宿营地)
  - ・ 供与RO浄水機により給水車延べ18両に対し約264t(約58,667人分)が配水された。
  - 10月10日まで計約46,935t(約10,207,778人分)配水(4.5t/人・日換算)
- ◎ クウェート分遣班
  - ・ 現金紐替
  - ・ CFLCC調整
  - ・ 燃料車両点検及び市内業者調整

**全 般 (1.0月10日)**

- ◎ バックアップLO
  - ・情報収集
  - ・情報資料の送付
- ◎ バスラLO
  - ・情報要求対応及び定例情報収集
  - ・定例会議への参加
  - ・空路輸送調整
- ◎ スミットLO
  - ・情報要求対応等
  - ・各種業務調整等
  - ・各種ミーティング等
- ◎ クウェート大使館LO
  - ・連絡調整：来訪者調整
  - ・情報収集：公電等

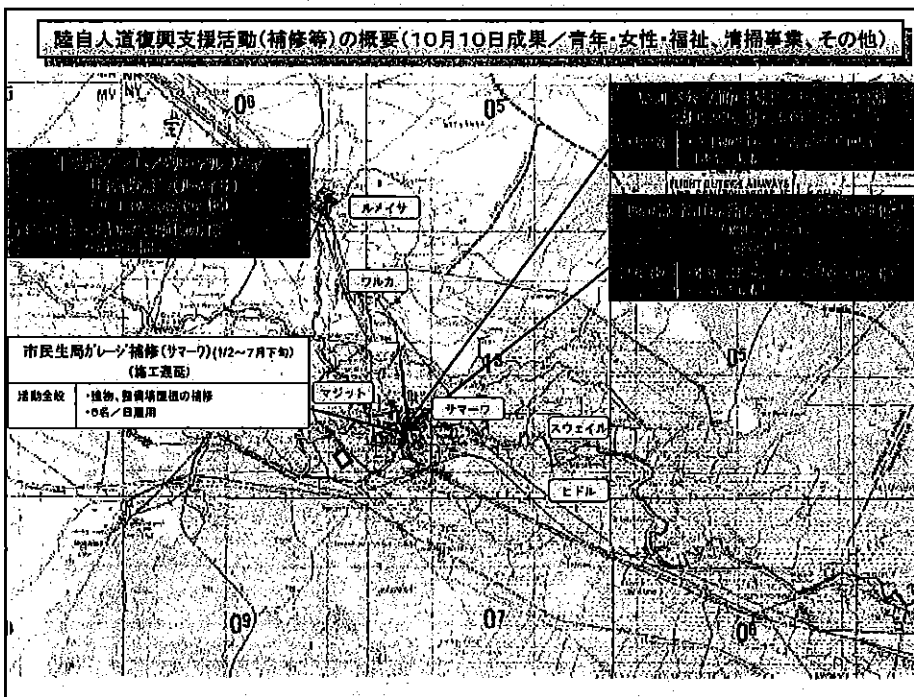
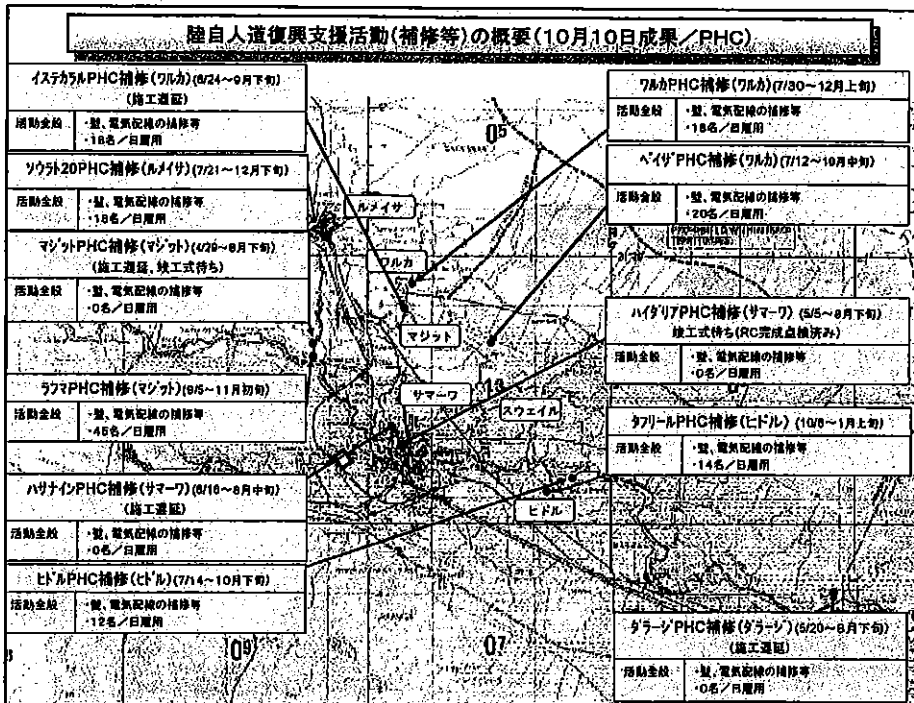
別表

**雇 用 者 (1.0月10日)**

区分		人員数(名)	小計(名)	合計(名)
宿営地外役務	医療	145	471	649
	学校修復	192		
	道路補修	8		
	青年・スポーツ関連	42		
	清掃事業関連	6		
	給水関連	78		
宿営地内役務	通訳	60	178	
	警備	40		
	給仕	1		
	ゴミ処理	5		
	し尿処理	5		
	清掃	3		
	エンジニア	2		
	タクシー	28		
	床屋	2		
	弁護士	1		
	アドバイザー	1		
	電気工等	3		
	調査員	7		
耐弾性強化施設補修	20			

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月10日成果/学校)		
<p><b>7ル・ワーク男子小学校</b> 7ル・ナジワ女子小学校(ルメイ) (4/10~7月下旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・8名/日雇用	
活動状況	完成点検終了(準備中)	
<p><b>ナイサー中学校(ヒール)</b> (4/20~7月下旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・35名/日雇用	
<p><b>7ル・ホルド小学校(サマー)</b></p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用	
活動状況	工事内容終了(完成点検準備待ち) 平造り工事中	
<p><b>7ル・ホルド小学校分校(サマー)</b> (7/8~10月上旬)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・10名/日雇用	
<p><b>7ル・アガラス小学校(ワルカ)</b> (4/11~9月中旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・7名/日雇用	
活動状況	完成点検待ち。一部資材納入待ち	
<p><b>リルシェン小学校(サマー)</b> (8/20~9月下旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・18名/日雇用	
<p><b>サマー工業高校(サマー)</b> (8/7~9月中旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・16名/日雇用	
<p><b>7ル・23中学校(サマー)</b> (4/2~9月中旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・30名/日雇用	
<p><b>コトバ小学校(ヒドル)</b> (7/6~11月上旬)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・35名/日雇用	
<p><b>7ル・アト小学校(サマー)</b> (4/25~7月下旬) (施工内容修正のため停止)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・0名/日雇用	
<p><b>サマー看護学校(サマー)</b> (8/17~9月下旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・壁、床、トイレ、電気配線の補修等 ・35名/日雇用	

陸自人道復興支援活動(補修等)の概要(10月10日成果/道路、給水関連施設)		
<p><b>ルメイ市内路(6/1~9月上旬)</b> (施工遅延)</p>		
活動人数	・砂利舗装及び排水設備の補修 ・0名/日雇用	
施工状況	観成のため	
<p><b>ルメイ給水橋の補修(ワルカ)</b> (3/2~8月下旬) (施工遅延)</p>		
活動人数	・劣化した給水パイプ等の補修 ・35名/日雇用	
<p><b>ムタワク橋の補修(スウエイル)</b> (7/23~12月中旬)</p>		
活動人数	・コンクリートビーム橋の補修 ・8名/日雇用	
<p><b>サマー市内道路(アンサダカ道路)</b> (竣工式待ち(RC完成点検済み))</p>		
活動人数	・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用	
<p><b>サマー市内道路(ブンカカ地区道路)</b> (竣工式待ち(RC完成点検済み))</p>		
活動人数	・砂利舗装及びアスファルト舗装 ・0名/日雇用	





### 装備の現況 (武器)

		武 器						
		拳銃	89小銃	64小銃	MINIMI	12.7mm重機関銃	84RR	信号拳銃
I Q	サマ-ワ							
	シャイバ							
	バズラ							
	タリル							
	バクダット							
	計							
K W	キャンプVA							
	キャンプアリフジャン							
	計							
総 計								

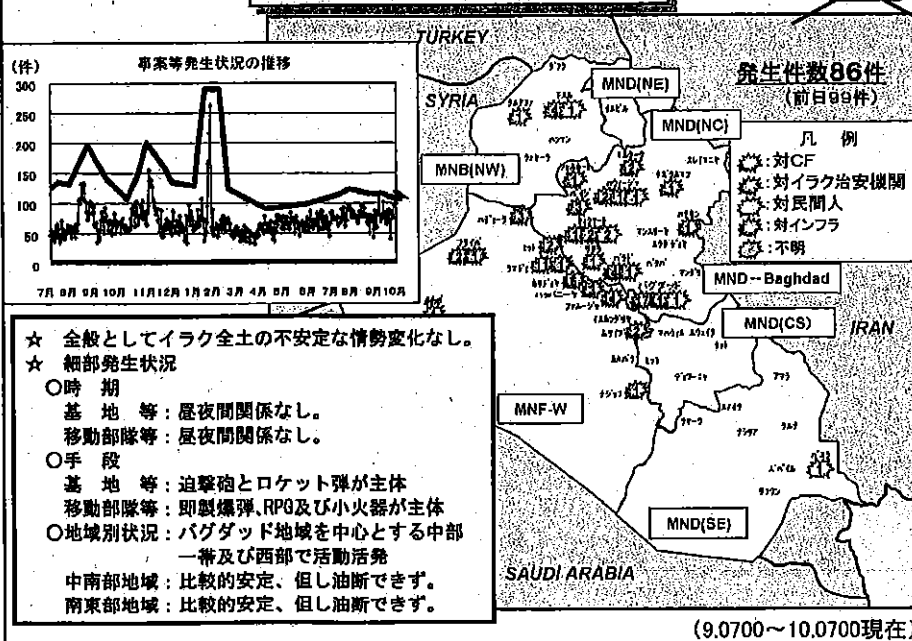
### 装備品等の可動・不可動の状況①

項 目	総 数	可 動	不 可 動	未 使 用	不可動の内容	備 考
車 両	201	200	1	0	WAPC×1 底板亀裂	後送中×1(本邦)
胎着用冷凍冷蔵庫	6	2	2	4	発電機コンプレッサ冷媒漏れ×1 発電機コンプレッサ動作不良×1	後送中(クウェート)
コンテナスキャナー	2	1	0	1	定期整備完了に伴う受け入れ	
エアコン	657	634	0	23		
発動発電機(6kw)	96	36	14	45	レギュレータ等不良×14	部品待×14
発動発電機(25kw)	67	44	11	12	ガバナ等不良×10 回転ケーブル不良×1	部品待×11
発動発電機(60kw)	69	47	0	12		
発動発電機(180kw)	17	15	0	2		
ロードローラ	1	1	0	0	オイルクーラ亀裂	部品待(応急修理完了)
遠距離大量送水システム	6	4	1	0	エンジン不良	後送中(クウェート)

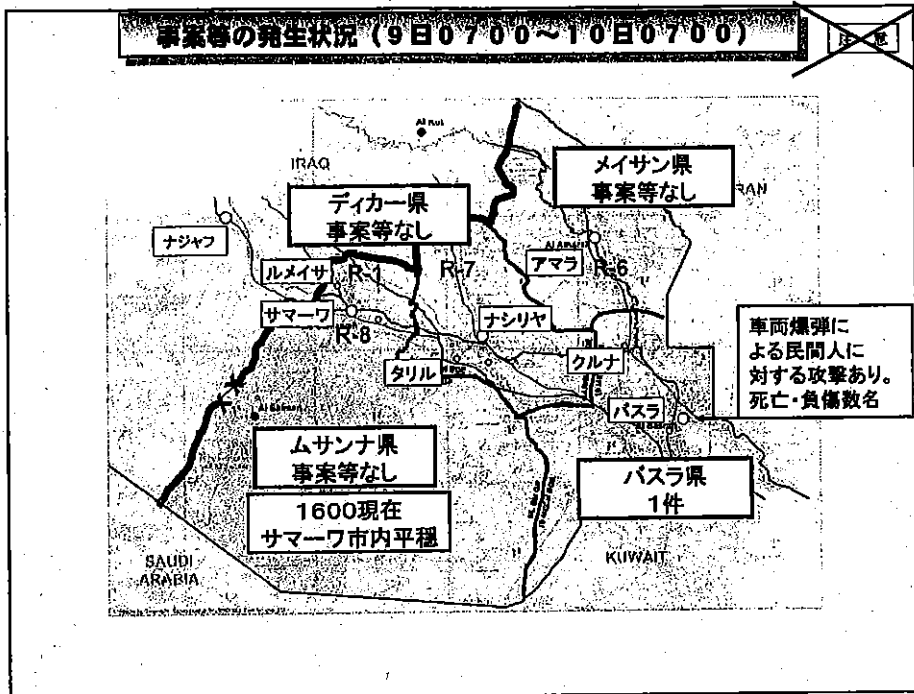
### 装備品等の可動・不可動の状況②

項目	総数	可動	不可動	未使用	不可動の内容	備考
浄水セット	官品	4	4	0	0	
	民生	2	2	0	0	
遠距離監視システム	昼用					
	夜用					
近距離監視システム						
近距離暗視装置(V7)						
微光暗視装置(V3)						
空中監視装置						

### 全国の事案等の発生状況(昨日)







**市内デモ(5日・6日)について-1**

**【県庁前デモ】**  
 ○日時:10月5日 0910~0945  
 ○場所:県庁前  
 ○規模:約100名  
 ○デモの推移  
 ●0910頃、県庁前に約100名が集合。  
 ●イラク警察、イラク陸軍、交通警察等への雇用に関し知事へ要求。群集の中に武装なし  
 ●県側対応者が善処する旨の県知事の回答を伝達。  
 ●0945、デモ収束。解散方向は多様

**【銀行前デモ】**  
 ○日時:10月6日 1000~1055  
 ○場所:ラフィダン銀行前  
 ○規模:約100名  
 ○デモの経緯  
 ●1000頃、ラフィダン(Alrafidan)銀行前に約100名が集合。  
 ●群集は同銀行を解雇された者であり、給与を請求。  
 ●50名が給与を受領、残り50名は受領できなかった。

**【5日・6日のデモとラマダンの関連】**  
 ○ラマダン期間は食料調達のため金が必要であることから群集が抗議したもの  
 ○群集の行動は、ラマダン期間中の喜捨を求めた物乞い

## 市内デモ(5日・6日)について-2

### 【評価】

- 5日・6日のデモは、①JAM(サドル派民兵)に動きがなかったこと、②集合・解散が組織的でなく、扇動者がみられなかったこと、③抗議内容が辞任要求等知事に対するものではなく、雇用要求や給料支払要求であったことから、はねっかえりも含めたサドル派民兵の扇動・関与はなかったとみられ、また、知事前評議会議長の政治的対立が背景にあることも考えにくい。いずれのデモも雇用の不満に端を発する市民のデモと考えられる。さらに、ラマダン期間中であることが影響している可能性もある。
- 県庁前とラフィダン銀行は道路を挟んで斜め向かいにあり、距離的には近い場所で連続してデモが発生したが、参加者、要求内容等が異なることから両者に関連はないとみられる。
- いずれも短時間(35分、55分)に収束したのは、抗議に対する回答・対応があったためと考えられる。昨年、ラマダン期間中のデモはなかったことから、ラマダン期間中の大規模デモ発生のお算は低いと考えられるが、ラマダン期間中、群集による物乞い的な行動が生起する可能性は考えられる。また、要求・対応の内容は細部不明であるが、具体的な対応が遅れたり、内容が要求に対して不十分である場合、デモの再発や拡大の可能性も否定はできない。

## 金曜礼拝(10.7)の状況-1

### 【金曜礼拝の状況】

#### ○アル・グレイブモスク:サマーワ市内(サドル派)

- 説法者:ケース師(約350名)

- 内容:・ラマダン関連

- ・先日亡くなったサード師の件について、私はこの事故について話す権限を与えられていない。

- ・サード師は殺害された。我々の敵はサード師の殺害をガラウイ師やザルガニ師等他の指導者を殺害する手始めだと考えてるのだろう。

- (注 敵は誰かについては言及なし)

- ・しかし、彼らはサマーワのサドル派事務所の方と金曜礼拝毎に礼拝者数が増えていることも知っている。我々はこの活動を継続する。そして、誰も我々を止めることはできない。

- ・サドル師のメッセージなし

#### ○アル・マフディモスク:サマーワ(サドル派)

- 説法者:ヤーグビー師(約100名)

- 内容:・ラマダン関連

- ・新憲法に賛成する必要がある。

- ・サドル師のメッセージなし

#### ○アル・メディーナモスク:ルメイサ(サドル派)

- 説法者:アドナン師(約2000名)

- 内容:・ラマダン関連

- ・「新憲法については賛成に投票するように」とのサドル師のメッセージを伝達。

### 金曜礼拝(10. 7)の状況-2

- マムラハモスク:サマーワ郊外(サドル派)
  - 説法者: ホセイン師(約70名)
  - 内 容: ・サドル師のメッセージを伝達。  
 「新憲法への賛成反対は各人の自由である。」  
 「イラク人を殺害しようとしているテロリストに気をつけるように」  
 「今月は治安を厳重にすることを望む。」
- アル・サマーワモスク:サマーワ市内(サドル派穏健派)
  - 説法者: アワディ師(約250名)
  - 内 容: ・ラマダン関連  
 ・「ノーノーザルカウイ、ノーノーテロリスト」、「麻薬は車両爆弾やテロリストよりも危険」  
 ・サドル師のメッセージなし
- アル・ジャシールモスク:サマーワ市内(スンニ派)
  - 説法者: サミール師(約60名)
  - 内 容: ラマダン関連

### 金曜礼拝(10. 7)の状況-3

- 【評 価】
- 今次礼拝は主としてラマダンに関する説法が主体であり、日本隊、多国籍軍批判はみられなかった。ラマダン入り口であることから、行事に関心がシフトしているものと考えられる。
  - サード師がルメイサで死亡した件に関する発言があり、サドル派が敵と考えているとみられるイラク警察とJAM(サドル派民兵)の間に緊張が継続する可能性がある。
  - 「今月は治安を厳重にすることを望む」、「テロリストに気をつけるように」とのサドル師のメッセージは、ラマダンへの配慮もあるとみられるが、国民投票を控え、同師が支持者に対し暴力を避け、政治路線を求めているものと考えられる。ただし、バスラ專案の未解決状況やサード師死亡関連專案等に不満を持つサドル派民兵のはねっかえりが多国籍軍、イラク警察に対する攻撃を行う可能性は否定できないため、バスラ、ルメイサ等周辺地域を含めた「はねっかえり」の動向には引き続き注視が必要。
  - サドル師は憲法に賛成とみられているが、今次礼拝におけるサドル師の2つのメッセージは若干トーンが異なっている。しかし、シスターニ師が「賛成・反対は個人の自由」との態度をとっているとの情報もあること、メッセージ中に「反対」の表現はみられず、サドル師の憲法に対するスタンスは、基本的に賛成であると考えられる。
  - 今次礼拝においても、知事批判はみられず、サドル派が知事との対決姿勢をやめた可能性は引き続き否定できない。ただし、今後、サード師死亡に関連してイラク警察との緊張が高まれば、体制に対する反発として、知事批判が再開されることも考えられる。
  - サマーワモスクでの麻薬に関する発言は、最近イラク全土では麻薬撲滅キャンペーンが行われる等、深刻な問題になっている模様であり、それに関連した発言とも考えられる。

### サード師死亡によるサドル派民兵とイラク警察の関係-1

#### 【事案の概要】

- 9月30日2200頃、ルメイサ市内において、サード師(Sa'ad Assad Al-Khazaly)を含む4名が、ナジャフのサドル派事務所襲撃事案に関与したとみられるSCIRI(イラクイスラム革命最高評議会)関係者の男を誘拐。
- 移動中、ルメイサのイラク警察チェックポイントで発覚し、サード師はルメイサ市内の農園の川に飛び込み、逃げようとしたが溺死。この際、もう1名も死亡、2名は逮捕。

#### 【葬儀の実施】

- 10月1日、サード師の葬儀として、アル・スールモスク周辺から約150名が棺を担ぎ、パーター通り等を練り歩き、第3ロータリーを経由、同師の家があるナサル地区に前進。

#### 【サード師の地位】

- 細部不明であるが、サマーワ市内においては、ガラウイ師、ザルガニ師、ケース師に次ぐ地位にある人物とされている。
- 10月4日、マーケット通り入口に「サード師は任務中に亡くなった」とのサインボードが掲示された。

#### 【JAM(サドル派民兵)関連動向】

- 10月3日、JAM(サドル派民兵)の一部グループがルメイサのイラク警察と誘拐しようとした人物に復讐するため、ルメイサに前進。サドル派民兵はサード師死亡の責任は誘拐しようとした人物とルメイサのイラク警察にあると考えている。
- 10月5日、サマーワのサドル派事務所は、サマーワのイラク警察に対し、逮捕された2名(サマーワに拘留中)を釈放しなければルメイサのイラク警察1名と誘拐した男を殺害すると脅迫。

### サード師死亡によるサドル派民兵とイラク警察の関係-2

#### 【釈放の背景等】

- [ ]は、10月5日1150、2名の釈放を確認。6日の24h見積として「イラク警察とサドル派民兵の緊張状態は沈静化するであろう。」とコメント
- 釈放は各種政党、宗教組織による政治的圧力で行われ、被拉致者は今後、法的措置を取らない旨誓約。
- サドル師は、この件に関し「イラク警察との間で平静を保ちなさい。」と命じた。
- ルメイサに拘留されていたメンバー2名の釈放をもってイラク警察との緊張は収束。

#### 【評価】

- サード師はサマーワ市の序列上位者であるとの情報の他、市内における葬儀、人通りの多い地点への看板設置等からサード師はサマーワのサドル派にとって重要な人物であったと思われる。
- サドル派民兵の一部が復讐のためルメイサに行ったという情報や、ルメイサのイラク警察及び誘拐しようとした人物を殺すとする脅迫の実施、責任が彼らにあるとの主張等から、サドル派が敵とみなしているのは、ルメイサのイラク警察及び被誘拐者であると考えられる。
- 礼拝で「事故」と述べられていることから、サード師の死亡原因はサドル派として公式には「事故」として処理されていると考えられる。また、イラク警察による関係者2名の釈放やサドル師の平静を保つようとの命令があったとする情報から、表面上、緊張緩和がなされたと思われる。一方で、「殺害された」、「他のシェイクを殺害する手始めと考えている」等の発言から、内部ではサード師は殺害されたものとして不満がくすぶっているとも考えられ、今後「はねかえり」などによるイラク警察等への攻撃、偶発的な衝突等の可能性もある。
- 金曜礼拝中、ケース師が「この活動を継続する」としているが、これが暴力措置をとらず政治路線継続を意味するのか、イラク警察への敵対関係を続けることなのかについては不明であり、引き続き情報を収集する。

## 市内デモ(9日)について-1

### 【銀行前デモ】

○日時:10月9日 0910~1200

○場所:ラフィダン銀行前

○規模:約200名

#### ○デモの経緯

●0910頃、ラフィダン(Alrafidan)銀行前に約200名が集合。

●群集は銀行に支払いを要求

●群集に武装はみられず、平穏

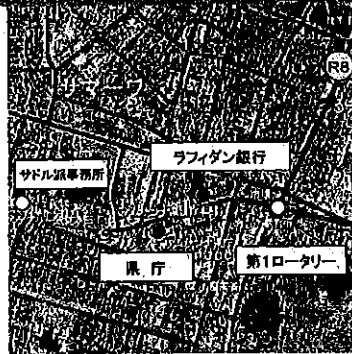
●群衆の整理等対応はFPSが実施

●1200、全員が給料を受領し解散

#### ○デモの背景

●銀行退職者が給与を要求

●イラクでは公務員、民間人を問わず退職後3か月以内に国立銀行から退職金を一括受領するシステム。ラフィダン銀行はサマーワで唯一の国立銀行



### 【県庁前デモ】

○日時:10月9日 0900~0920

○場所:県庁前

○規模:約50名

## 市内デモ(9日)について-2

### ○デモの推移

●0900頃、県庁前に約50名が集合。

●群集は交通警察等への雇用に関し要求。

●群集に武装はみられず

●0920、解散

### 【評価】

●銀行前及び県庁前のデモは、いずれも雇用や給与を要求する市民デモと考えられる。

●前回(6日・6日)のデモと同様、距離的に近い場所において、ほぼ同時にデモが発生したが、それぞれのデモの参加者、要求内容が異なることから、両者に関連はないとみられる。

●銀行前デモの背景は細部不明であるが、銀行前、県庁前いずれのデモにも共通して食料調達のため金が必要であること、喜捨を求めた物乞い等、ラマダン期間中であるという时期的特性が影響している可能性がある。

●昨年、ラマダン期間中のデモはなかったことから、ラマダン期間中に暴力的な大規模デモが発生する公算は小さいと考えられる。しかし、今次デモの要求は、前回のものとそれぞれ同様であるとみられ、要求に対する対応の具体的内容は細部不明であるが、ラマダン期間中、群集による物乞い的な行動については引き続き生起する可能性もある。

●前回、今回とも群衆に武装は見られず平穏に終了しているが、ラマダン期間中であることから、群集の空腹からの苛立ち等を考慮し、この種デモについては早期に察知し、柔軟に対応することが必要。

## サドル派民兵の説法(ルメイサ)について-1

### 【概要】

サドル派民兵は、ルメイサのアルメディーナモスクにおいて、6日以降毎日2100~2200の間ラマダンに伴う説法を実施(ラマダン期間中継続)。

\* 同モスクは、ルメイサで唯一のサドル派のモスク

#### ○6日

- 参加者: 同モスク周辺のサドル派民兵メンバー約150名
- 説法者: アドナン師、ムハンナッド師
- 内容: アドナン師 : イスラム及びラマダンに関する事項  
ムハンナッド師 : ・米軍はイラクから撤退させなければならない。  
・ルメイサ全域のサドル派民兵メンバーに対し、説法参加を呼びかけ。

#### ○7日

- 参加者: ルメイサ全域のサドル派民兵メンバー約1000名
- 説法者: ムハンナッド師
- 内容: ・サドル師の指示として「新憲法を支持せよ。」「モスクの安全を保持せよ。」「我々は問題を起こしてはならない。」  
・米国はイラクの友人ではなく、イスラムを嫌っている。イラクから出て行け。  
・新憲法制定後、イラクは強力になるので多国籍軍は出て行け。

## サドル派民兵の説法(ルメイサ)について-2

#### ○8日

- 参加者: ルメイサ全域のサドル派民兵メンバー約1000名、支持市民約500名
- 説法者: ムハンナッド師
- 内容: ・米国はテロリストだ。  
・米国はファルージャにおいてサドル派民兵を攻撃した。

#### ○9日

- 参加者: ルメイサ全域のサドル派民兵約1000名、支持市民約500名
- 説法者: ムハンナッド師
- 内容: ・日本の支援活動は少ない。日本は良い仕事をくれない  
・米国はイラクにいらぬ。

### 【説法者について】

#### ○昨年の状況

同様の説法が実施され、説法者はアブドル・ラザック(Abdul Razaq)師であり日本隊に悪意を持つ男。(昨年10月、反日デモを計画したとの情報もある。)

#### ○今年の説法者

- アドナン師 : アルメディーナモスクにおける金曜礼拝の説法者
- ムハンナッド師: 日本隊に不満を持つ人物。



**サドル派民兵の説法(ルメイサ)について-3**



**【本説法の位置付】**

- ラマダン時期のみの説法
- 比較的重要なもの

**【参加者の反応等】**

- サドル派民兵メンバーはすべての内容に同意。
- 支持する市民は同意する内容と同意しないものが混在。

**<評 価>**

- 金曜礼拝は市民も対象としており、一定の公式の場とも位置付けられるが、本説法はサドル派民兵メンバーが主対象とみられること、ラマダン時期のみの重要とみられる説法であることから、金曜礼拝とは異なった意味合いを持つものと思われる。
- 説法においては、サドル師の指示として自薦を呼びかけてはいるものの、公然と米国、多国籍軍の非難を行っており、日本に対する批判も認められた。本説法が、過激メンバーのラマダン時期における苛立ちのガス抜き場として活用されているとも考えられる。しかしながら、説法に触発され具体的な行動に移す者が出る可能性も否定できない。サマーフにおいてはこの種の説法は確認されていないが、本説法がはねっかえり及びその可能性を有するサドル派民兵に及ぼす影響については注意を要する。
- 説法者については細部不明であるが、日本隊をよく思っていない人物であるとの情報もあることから、継続的に日本批判を行う可能性もあり、引き続き情報収集する。

**イラク全土の全般情勢評価 (10.10)**



(9月29日の報告以降、変化なし)

区 分	内 容	備 考
全 般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●バグダッド中心に、中北・西部においてMNF及びISFに対する攻撃が継続</li> <li>●新政権発足後も攻撃件数は依然高い水準を維持</li> <li>●政治プロセスに関連し、テロ、衝突等が発生する可能性</li> <li>●南東部でサドル派が活動を活発化させている可能性</li> </ul>	8/26追加 8/8追加
スンニ派 過激派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●当面は現在のレベルでの活動(反MNF・ISF・ITG)を継続(急激な過激化への兆候はなし)</li> <li>●アンサル・スンナとザルカウイGpが共闘の可能性</li> <li>●ザルカウイ関連Gpの活動が活発化</li> <li>●シーア・スンニ宗派間対立を企図したテロ発生の可能性</li> </ul>	9/15追加 9/1追加
FRE	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「反占領」を主眼に今後も脅威であり続ける</li> </ul>	
国際テロリスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暴力と恐怖による方法(テロ)は今後も継続</li> </ul>	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●民心の掌握(ソフト路線)継続。一方で民兵再構築実施</li> </ul>	
トレンド (特異事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●宗教行事等多数の人が集まる場を狙ったテロ(パニック誘引)</li> </ul>	9/1追加

イラク南東部の全般情勢評価 (10.10)		
(10月9日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定→アマラ、バスラで多国籍軍・イラク治安部隊等への攻撃発生</li> <li>●メイサン県に存在すると考えられていた即製爆弾攻撃ネットワークがバスラ県に活動を拡大した可能性</li> <li>●バスラの不安定な治安情勢が継続する可能性</li> </ul>	8/17追加 9/27追加 9/20追加
スンニ過激派 国際テロリスト FRE	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多国籍軍が駐留する限り攻撃は継続</li> <li>●バスラ・メイサン県で即製爆弾増加傾向</li> </ul>	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サドル師の指示に従わない一部勢力の存在</li> <li>●バスラの様子が周辺地域のはねっかえりに影響を及ぼす可能性は否定できない。</li> </ul>	8/28追加 10/9追加
MSR・ASR	<ul style="list-style-type: none"> <li>●即製爆弾・車両爆弾、友軍相撃、ロードスパイク、子供飛出し カージャックがMSRタンバ、ASRサークル上で発生</li> <li>●ASRサークル路面状況悪化(タンバは開通予定延期)</li> <li>●移動中のコンボイに対する車両爆弾の可能性</li> </ul>	7/23追加  7/22追加
タリルAB	●空港への曲射撃及び離発着航空機に対する攻撃に警戒	9/30追加
トレンド	南東部における電波指令式即製爆弾が増加	

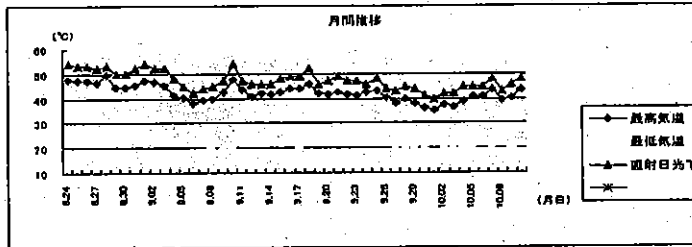
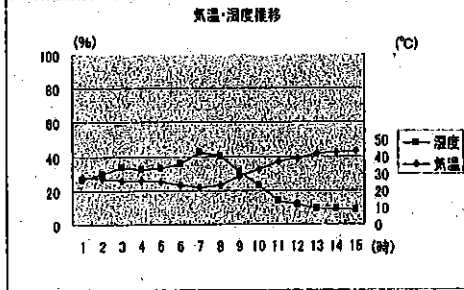
ムサンナ県の全般情勢評価 (10.10)		
(10月9日の報告以降変化なし)		
区分	内容	備考
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>●比較的安定、しかしながら油断は出来ず</li> <li>●知事、前評議会議長の動向等、政治情勢は依然流動的</li> <li>●イラク治安部隊の治安維持能力が向上しつつある。</li> </ul>	9/30修正 10/9追加
スンニ過激派 国際テロリスト	●スンニ派テロリスト等が活動する可能性は低いが、県外からの流入、他地域での活動のための存在あり	
サドル派	<ul style="list-style-type: none"> <li>●サドル派が知事との対決姿勢をやめた可能性</li> <li>●バスラの影響により、はねっかえりが多国籍軍、イラク警察等に対する攻撃を行う可能性は否定できない。</li> </ul>	9/17追加 10/9追加
部族関連	宿营地警備等の雇用の増大を企図する一部の部族関係者が存在するとの情報	7/7追加
デモ関連	●電気、水、ガソリン等の比較的良好な状況が継続し、気温も低下してきていることから、デモ発生の公算は低下していると考えられるが、雇用要求等のデモ発生の可能性はあり、知事辞任要求のデモ発生の可能性についても依然存続	9/8修正



## 現地の気象情報

### 報告内容

日の出 : 0558  
 日の入 : 1733  
 月 齢 : 7.9  
 月出沒 : (没 10日2248~出11日1347)  
 天 候 : 晴れ  
 気 温 : 最高43.3 最低 21.9℃  
           : 最高48℃(直射日光下)  
 湿 度 : 25.5%  
 風 速 : N 0~2m/s



## 10月11日(火)の活動予定

コール	行動名	時刻	活動内容等	車両
J1	群島の行動 J1: キャンプ・スミッティ訪問	0830	総隊長報告	
		0850		
		0730	JJ21, 71, J101行動指導及び行動説明決裁	
		0740		
		0800	群島礼(防衛隊隊員紹介)	
		0810		
		0815	作戦会議(JJ2, J102行動指導)	
		0830		
		0830	JJ2, J102行動説明決裁	
		0840		
		0840	J任務経路について(押通)	
		0850		
		0900	メンタルヘルス結果報告受け	
		0930		
		0930	TV取材Q&A指導	
		1000		
		1030	曹長食フォト・川柳コンテスト審査	
1045				
1050	10月誕生会食			
1130				
1130	J1, J103行動指導及び行動説明決裁			
1140				
	別添			LAVG)×3
	宿舎地 発			
	キャンプ・スミッティ 着			
	キャンプ・スミッティ 発			
	宿舎地 着			
	1600	活動命令(海)決裁		
	1610			
	1630	デイリーミーティング		
	1700			
	1715	電話会議		
	1745			
J2	業務支援隊長の行動		机力回視( ~12日)	

10月11日(火)の活動予定				
コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J2 EKO	風防支援隊副隊長の行動	0745	隊朝礼	
		0800		
		0800	隊朝礼	
		0810		
		0820	作戦会議	
		0830		
		1030	宿営地内勤務	
		1030	青友会フォト・川柳コンテスト審査	
		1045		
		1050	10月国生会食	
		1130		
		1310	メンタルヘルス要員との情報交換	
		1400		
		1400	宿営地内勤務	
		1600		
1630	デイリーミーティング			
1700				
1720	隊デイリーミーティング			
J21	対外調整(ワルカ付帯運現場偵察)	別示	宿営地 発 ワルカ付帯運(アルスワルム) 船(ワルカ) ワルカ付帯運(アルスワルム) 船(ワルカ) ワルカ付帯運(アルプシバ) 船(ワルカ) ワルカ付帯運(アルプシバ) 船(ワルカ) 宿営地 着 宿営地 発	LAV(G)×4 高機(E)×1
J71	施設支援(アル・アグラス小学校完成点検)	別示	アル・アグラス小学校 着(ワルカ) アル・アグラス小学校 発(ワルカ) 宿営地 着 宿営地 発	LAV(G)×4 高機(E)×1
J72	施設支援(バイザPHC施工状況確認)	別示	バイザPHC 船(ワルカ) バイザPHC 船(ワルカ) 宿営地 着	LAV(G)×4 高機(E)×1

10月11日(火)の活動予定				
コール	行動名	時程	活動内容等	車両
J101	ルートチェック	別示		
J102	ルートチェック	別示		
J103	ルートチェック	別示		
J201	ORF(A)			
J202	ORF(B)			
S6★	役務要員配置	0930～ 1130～ 1930～	宿営地～運河警戒位置～宿営地	
S11★	芸術		芸術	
S12★	浄水活動(運河)	0730～1200	大貫浄水システム点検・運転	LAV(G)×1

**10月11日(火)の活動予定**

コール	行動名	時程	活動内容等	車両
S13a	宿営地内工事、作業	0800~1200	宿営地散水	
S13b		0800~1600	ゴミ回収	
S13c		0800~1600	尿尿汲み取り	
S13d		0800~1600	冷凍コンテナメンテナンス	
S13e		0800~1600	第1回環況調査( ~13日)	
S13f		0800~1200	厚生施設内装改修( ~13日)	
S13g		0800~1200	発電機再配置( ~8次群へ)	
S13h		0800~1200	宿営地内側調整( ~20日)	
S13i		1300~1200	物品洗浄機構築( ~16日)	
S13j		0800~1200	██████████( ~23日)	
S15		群主力の行動	0800~0810	群朝礼(防衛施設局長員紹介)
	0830~1600		宿営地内活動	
S16	空中監視活動	11日 0730 ~ 12日 0730	空中監視活動	

**10月10日(月)の活動予定**

クウェート分遣班	バクダッドLO	バスラLO	スミッティLO	クウェート大使館LO
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ #7-8戦力回復輸送支援</li> <li>・ 大使館定例連絡会議</li> <li>・ 糧食検査、積込み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡調整</li> <li>・ 情報収集</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報要求対応</li> <li>・ 定例情報収集</li> <li>・ 定例会議への出席</li> <li>・ 空路輸送調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報要求対応</li> <li>・ 各課業務調整</li> <li>・ ミーティング等参加</li> <li>・ 群長等訪問対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 連絡調整</li> <li>・ 情報収集</li> </ul>

ネイサー中学校施工状況確認



ネイサー中学校の施工全般状況



施工状況を確認する隊員

ワルカ浄水場施工状況確認



ワルカ浄水場の施工全般状況



貯水槽の中に点検に入る隊員

の宿営地訪問



と懇談する群長、兼支副隊長



と群長

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

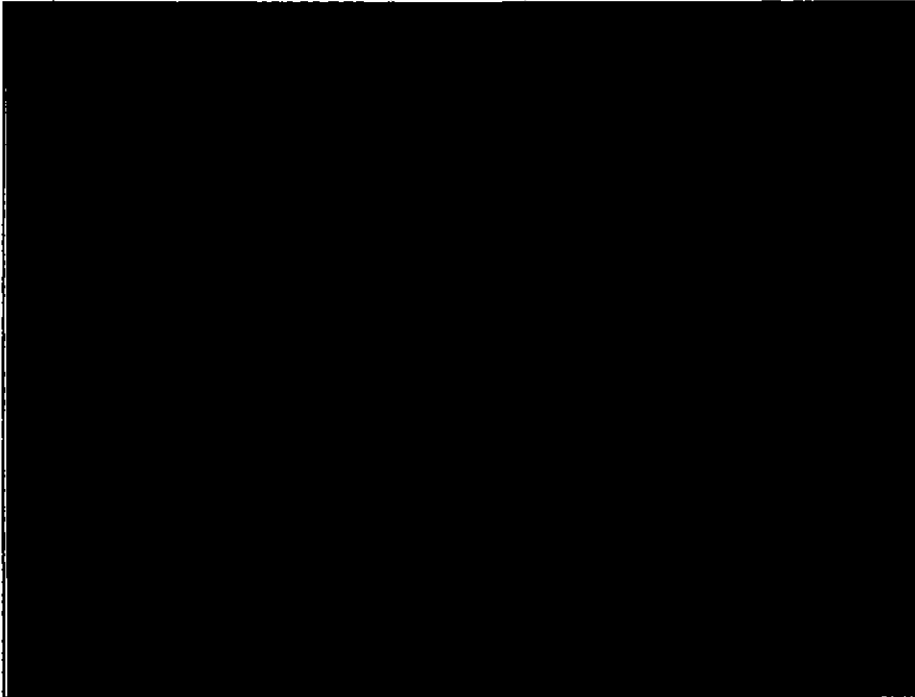
一昨今、本邦では、イラク特措法期限に近づくなか、世論調査等で“派遣延長反対”とする結果が取りざたされているようである。我々のこれまでの活動が、国民に高く評価されている事は、疑いもない事実である。当地で勤務する隊員が、“派遣延長反対”報道をイラク派遣部隊そのものをマイナス評価するものと誤解しないように、よく教育せよ。

一そろそろ、部隊交代の時期が見えてきた段階にあり、各隊員にあっては、本作戰終了後の事を考え始める頃である。各部隊長は、各隊員帰国後の派遣元部隊における服務に還元できるように、よく隊員の心情把握等の服務指導をしっかりと行ってもらいたい。

- 治安情勢: 別途「イラク復興支援群活動報告」第3項「現地の治安状況等」確認
- 警備態勢: [REDACTED]
- 群長指導事項

一本日、[REDACTED]と会った。国民投票の期間中、警備に関し、あくまでもIP・IAがメインであり、多国籍軍がサポートする側であると言っていた。承知せよ。MNF側してみれば、治安権限委譲の態勢作りの意味合いがあるのだろう。

区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマワに直接影響を及ぼす脅威情報 [REDACTED] (2) イラク全域に係る脅威レベル サマワ及びバスラは[REDACTED]、バグダッド及びモスルは[REDACTED]、ラマディは[REDACTED]
2 特記事項	[REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報収集及び情報資料の送付等 (2) [REDACTED] 送別会参加 (JVB: 1500~)
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	なし



## バグダッド 日誌 (10月10日)

- 曹長ミーティングについて(毎週月曜日1000~1130)  
 本日は、各部隊毎問題点を紹介する型式で実施された。参考になった事項を紹介する。  
 ・ ヴィクトリー内の床屋(イラク人役務)で散髪をしたところ、髪変色し抜けはじめた。衛生上の問題について、質問があったところ、医務室からは「当該隊員は、IED攻撃を受けた後、コンバットストレスのため、髪が抜ける等の症状が出ている。床屋の衛生状態には問題ない。」との回答があった。  
 ・ イラクで負傷した兵士等からの手紙が初めて(4次要員が参加し始めた後)紹介された。  
 米軍兵士(女性)の手紙: イラクでIEDにより負傷(手の指4本損傷)したが、本土で元気にしている。  
 戦死した米軍人の家族からの手紙。  
 その後各参加者は、淡々と各人の勤務に戻っていった。
- C2-CASEの各国将校等に「そうめん」を振る舞った。  
 ・ 一口でやめる者、喜んで食べる者、反応は様々であったが、日本人スタッフLOの株が(少し)上がった?

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 (警戒態勢):
2 特記事項	
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 89R (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : (3) 定例会議への出席 : 司令部朝会議・夕会議、J2・J3・J6認識統一会議、 (4) 空路輸送調整 (5) SNRミーティング
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議への出席 (3) 空路輸送調整 (4)
5 その他(備考)	能力回復




## バスラ日誌 (10月10日)


本日は、「人の育成」をテーマに送ります。

1 先任連絡官が、戦力回復に出発して今日でちょうど1週間。この間の長臨席の作戦会議には、必ず日本の代表として参加している。周りはアングロサクソンばかり。それ以外と言えばイタリア・ルーマニアのラテン・スラブと東洋の日本のみ。そして彼らは、当然ではあるが私の発言を高々1割の発言とは思わず、「唯一の東洋の国、日本」の代表として扱う。そしてそんな雰囲気にならないように、会議に参加する前には、左肩の日の丸を凝視してから会議に臨むようにしている。責任の重さが今の自分の業務遂行の原動力である。

2「立場が人を作る。」と言いますが、多国籍軍の司令部では下士官も大きな責任を与えられ仕事をしています。J-2でも、多くのレポートが准尉以下の担当者により作成されています。二十歳過ぎの伍長でもA4数枚のレポートを起草します。各部隊の情報要約書なども実質的に下士官が作成しています。それを見ていると、我々は練習に、ある意味仕事をさせなさ過ぎなのかなと思うことがあります。そのやりかたの是非は別にして、私が、これまで国内で見えてきた隊員と比べてみると、情報業務にだけ限って言えば、彼らの方が(相対的には)仕事ができる。決して日本の隊員が劣っているとは思わない。能力的には勝っている。しかし彼らの方が仕事はできる。前職学校教官の私としては面白いテーマだと思って、観察しています。



 <span style="float: right;">スミッティLO日々業務報告(10月10日)</span>	
区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> Threat Level <span style="background-color: black; color: black;">                    </span>
2 特記事項	明日のMEDEVAC訓練中止(ヘリの故障により)
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマワ市内及び近郊の治安情報の収集、Tactical Overwatch 後のTFMサンナの活動状況に関して (2) 各種業務調整等 11日のMEDEVAC訓練の調整等(キャンセル)、 <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> (AMTG CO)のサマワ宿営地訪問(同行) 隊長のスミッティ訪問対応 (3) 各種ミーティング等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整 隊長のキャンプスミッティ訪問対応 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	(1) 明日の英・豪軍等の射撃 なし。 (2) 明日の英・豪軍等の陸自宿営地訪問 なし。

 <span style="float: right;">クウェート分遣班業務報告</span>	
17.10.10	
全 般	
<input type="checkbox"/> 国内情報等： <span style="background-color: black; color: black;">                    </span> <input type="checkbox"/> 人員・武器等異状なし <input type="checkbox"/> 人員報告：所属人員24名、事故人員5名(サマワ研修×3、戦力回復×2)、現在員19名	<input type="checkbox"/> 天候：晴れ <input type="checkbox"/> 気温：最低：35.3℃最高：49.0℃ (直射日光下の最高気温：61.3℃)
本日の行動	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 現金相替 <input type="checkbox"/> CFLCC調整 <input type="checkbox"/> 燃料車調点検及び市内業者調整	
明日の予定	
恒常業務・その他	
<input type="checkbox"/> 7-8戦力回復輸送支援 <input type="checkbox"/> 大使館定例連絡会議 <input type="checkbox"/> 糧食換数・積込み	
その他(教訓・要望事項等)	

クウェートLO日々業務報告(10月10日1900)

区分	内 容	
1 警戒態勢等	警戒レベル部分引下のまま ( [redacted] ) (1) 国家公安部、石油関連施設、大使館等重要防護施設防護部署及び国境警備隊等部署：警戒強化中 (2) 日本国外務省渡航安全情報（危険情報）：クウェート全土「十分注意」 [redacted]	
2 特記事項	なし	
3 本日の業務	大 使 館	CFLCC
	(1) 連絡調整等 ア 11月訪問者来訪調整 (2) 情報収集 ア [redacted] 特記事項無し 『国民投票日前後の治安対策』 [redacted] 補部 別紙 イ 新聞金指	(1) 連絡調整等 [redacted] ア 11月訪問者来訪調整 イ 大使館員CFLCC研修調整 (2) 情報収集 アップデートミーティング 特記事項無し
4 明日の予定	(1) 連絡調整等 11月訪問者来訪調整 (2) 情報収集 ア [redacted] イ 新聞金指	(1) 連絡調整等 11月訪問者来訪調整 (2) 情報収集 アップデートミーティング
5 その他（備考）	なし	